

植物

種名	ハシナガヤマサギソウ (<i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>mandarinorum</i> var. <i>mandarinorum</i>)
指定の理由	園芸採取、管理放棄等により絶滅のおそれがある。
形態	高さ20～40cm。葉は下部の1個が大きく、長さ5～11cm、幅1～1.5cmで、線状長楕円形。黄緑色の花を5-7月に咲かせる。種内変異に富み、多くの変種が報告されているが、変異が連続して同定が難しい種類がある。ヤマサギソウは距が水平からやや下がって伸び、長さが7-12mmであるのに対し、本種は距が水平に横に伸び、25-35mmとな
生息分布状況	高知県内の自生地は四万十町1ヶ所である。向陽の草地に生育する。
種の存続を脅かす要因	自然遷移、園芸採取
保護に関する指針	県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の採取等を禁止するものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	CR(絶滅危惧ⅠA類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	ウ 商品価値や希少性が高く、個体の維持に支障を来す程度に捕獲又は採取の対象となっている種



写真提供：高知県立牧野植物園

参考文献

遊川知久(2015)ラン科ツレサギソウ属. In: 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩(編). 日本の野生植物1. p.224. 平凡社. 東京.